

平成24年度 室内環境学会燃焼器具分科会 活動報告

東北文化学園大学大学院 野崎 淳夫

平成23年度において、本燃焼器具分科会は本会東北支部ならびに日本建築学会と共同し、仮設住宅における実態調査活動に参画し、燃焼排ガス（NO_x、VOCなど）の測定作業を行った。また、大気環境学会北海道・東北支部で活動する研究者に対して、本学会東北支部や燃焼器具分科会の活動内容についての情報提供を行った。

これら活動内容を踏まえ、平成24年度は以下の活動計画を実行する。

1) 実測調査と実験作業

開放型燃焼器具による室内空気汚染の実態把握と器具の汚染物質発生量を定量的に明らかにするため、実測調査や環境制御型大型チャンバー（暮らしの科学研究所）を用いた実験室実験を行う。

特に、実測調査により震災住宅での汚染実態を明らかにし、また実験的に燃焼機器の汚染物質発生量をより明確なものとする。また、燃焼器具に関わる各種規制基準を調査し、室内濃度と個人暴露量との関係に関わる検討作業を行う。

2) 成果発表

活動成果を室内環境学会学術大会などで発表する。また、活動成果を広く周知するため、勉強会などを開催し、シンポジウム開催を検討する。